

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-40 母子保健事業	自治事務	主管課	市民健康課
	法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	妊産婦・乳幼児等
意図	こどもの健全育成と、子育て家族の健康の増進のため。
効果	家庭の育児力が向上し、安心して子育てすることで、こどもが心身ともに健全に発育発達する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳、父子健康手帳、すくすく手帳の交付を行った。 ・妊産婦健康診査補助券を交付し、妊婦健診14回、産後1か月健診1回の助成を行った。 ・家庭訪問(新生児育児支援等)、乳幼児健診、母親教室、育児講座、健康相談等を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	110,754	103,469	当初予算(千円)	112,475			
	国県支出金	6,304	5,646	国県支出金	5,732			
	地方債	0	0	地方債	0			
	その他	0	0	その他	0			
	一般財源	104,450	97,823	一般財源	106,743			
事業経費運営	人員配置数	11.2	9.2	人員配置数	8.8			
	人件費(千円)	84,814	74,180	人件費(千円)	69,337			
	総事業費(千円)	195,568	177,649	総事業費(千円)	181,812			
	市民1人当りの経費(円)	1,102	1,002	市民1人当りの経費(円)	1,028			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	法定受託事務等のため、予算の縮小は不可能。思春期保健の拡充については、鎌倉保健福祉事務所及び鎌倉助産師会と連携しながら実施していく。市民健康課では、小中学校の学校保健と連携し工夫することで予算の範囲内で継続して実施を図っていく。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化などにより、保護者の育児に関する知識・体験が不足し、育児力が低下している。また、妊産婦の高齢化に伴い、育児を支援する家族も高齢化しているため、支援が得られにくくなっている。これらの状況から、関係機関の連携や協力による継続的な支援がますます必要になっている。 ・また、虐待予防の観点からも、妊娠・出産・育児等への支援は今後も引き続き継続していく。 ・次世代の健康づくりの観点から、関連各課及び鎌倉保健福祉事務所、鎌倉助産師会等と協力して思春期保健の拡充を図っていく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で健診等の母子保健事業が実施できる会場の確保。 ・近年増加傾向のハイリスク妊婦や支援を要する保護者に対し、母子保健事業の各場面で専門的支援の必要性が高くなっている。 ・乳幼児健康診査の未受診者に対する、受診勧奨と全数フォロー。 ・思春期保健における、小中学生を対象とした命の教育の拡充。 	
課題解決のために行った平成27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク妊婦・家庭へ、専任の助産師による電話フォロー・養育支援家庭訪問等を行い、専門的支援の実施と他課連携を強化した。 ・健診未受診者に、通知・電話・家庭訪問等により受診を勧奨し、受診率を維持できた。 (1歳6か月児健診 26年度95.4%→27年度96.0%、3歳児健診 26年度93.0%→92.2%) ・市内小中学校7校において「いのちの教室」を実施した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	①事業実施の準備や移動にかかる時間をスリム化し、専門的支援の機会を拡充するため、通年で幼児健診を実施できる会場の確保。②ハイリスク妊婦や虐待が疑われるケース等、関連機関と連携して支援を要するケースが増加しているため、連携方法の見直しや専門的支援ができる人材の育成。③子どもたちが自らの健康づくりやライフプランを選択・実行できるように、思春期保健の拡充。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	乳児家庭全戸訪問事業実施率									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	98.0%		97.7%	93.3%						
	1,215件	2,880件	1,902件	1,694件	1,500件	2,889件	230件	390件	230件	

比較事項	幼児健康診査受診率(平成26年度:上段 3歳児健康診査、下段 1歳6か月児健康診査)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	93.0%		97.4%				102.9%	93.5%	96.0%	
	95.4%		91.3%				104.6%	94.3%	94.9%	

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	3歳児健康診査受診率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			市民が受診しやすい会場の確保・健診体制の工夫が課題
健診時の育児相談等を通し育児支援を行うとともに、虐待の予防・早期発見のため。	目標値	90.0	93.0	94.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値	93.0	92.2							
	達成率	103.3%	99.1%							

指標の内容	市内小中学校における「いのちの教室」実施数					単位	件	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			目標値を下回ったが、新規の小中学校に「いのちの教室」を実施出来た。指標値は見直しを行った。
いのちの大切さや自らのライフプランを選択・行動できる人材を育成するため。	目標値	8	10	10	15	15	20			
	実績値	8	7							
	達成率	100.0%	70.0%							

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--